

【鳥取県の全体目標】 **がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を70.0未満とする**
 (令和5年度まで) (男女別の目標値 男性：90.0未満 女性：50.0未満)

【中期目標】 **精度の高い活用しやすいがん患者(登録)情報の提供と登録情報の活用によるがん医療の均てん化への貢献**
 (令和3年度～令和5年度)

前年度の目標	1) がん登録の精度向上を図る 2) がん登録データを活用し認知度を高める
前年度Plan	前年度Act
1) がん登録の精度向上を図る ・実務者のスキルアップを図るため、定期的に開催される各種研修会等に積極的に参加する ・がん登録データの質の担保を図るため、実務者認定資格を取得または保持する 2) がん登録データを活用し認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用して、医療関係者・一般の方に役立つ、正確ながん情報を提供する。 ・各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する ・鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用し、生存率を公表する	1) がん登録の精度向上を図る ・今後も研修会等に参加、SNSの活用を行い、がん登録の精度向上と質の担保を図る。 ・登録精度向上のため、研修会を開催するとともに研修会情報を共有できるように情報提供を行う。 ・データの質を担保を図るため認定資格を保持できるよう認定試験情報等の情報提供を行う。 ・今後も、ブール問題等を活用し自己学習を行いスキルアップを図る。 ・研修会、Webセミナーで得られた情報を実務者間で共有し、共通理解を図る。 ・実務者認定資格を取得・更新することにより、がん登録データの質を担保する。 2) がん登録の認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPのデータ等を更新し、一般の方にも役立つような情報を提供するとともに、アクセス数の多いコンテンツを定期的に更新する。 ・自施設のホームページを更新し、新しい情報を提供する。 ・他部門との連携を継続することにより更に認知度を高める。 ・院内がん登録委員会等を開催し、分析結果等の情報を提供する

今年度の目標	1) がん登録の精度向上を図る 2) がん登録データを活用し認知度を高める		
Plan(計画)	Do(実施)	Check(点検・評価)	Act(処置・改善)
1) がん登録の精度向上を図る ◎実務者のスキルアップを図るため、定期的に開催される各種研修会等に積極的に参加する。 ①鳥取県院内がん登録実務者研修会(主催：鳥大) ・年2回程度実施予定(第1回 9/2開催) ②院内がん登録実務者研修会(主催：国立がん研究センター) ・データ分析研修 ・中級者認定者研修 ・初級者認定者研修 ◎がん登録データの質の担保を図るため、実務者認定資格を取得または保持する。 ①県内の認定資格者の把握のため、実態調査を実施する。 ②院内がん登録認定・更新試験を受験する(主催：国立がん研究センター) ・中級認定者試験 ・中級者認定更新試験 ・初級認定者試験 ・初級者認定更新試験 2) がん登録データを活用し認知度を高める ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用して、医療関係者・一般の方に役立つ、正確ながん情報を提供する。(企画：鳥大) ◎各施設で院内がん登録のデータ活用を実施する ・各施設のホームページ等ががん登録集計データを掲載・更新する ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用し、生存率を公表する。 ・主に5大がんについて、部位別、ステージ別の集計を行いホームページに掲載する。(企画：鳥大)	1) がん登録の精度向上を図る ◎実務者のスキルアップを図るため、定期的に開催される各種研修会等に積極的に参加した。 ①鳥取県院内がん登録実務者研修会(主催：鳥大) ・第1回 9/2開催→8施設 ・中級者認定者研修→ 6施設 ・初級者認定者研修→ 4施設 ・鳥大がんセミナー、各種Web研修等→ 9施設 ②院内がん登録実務者研修会(主催：国立がん研究センター) ・中級者認定者研修→ 6施設 ・初級者認定者研修→ 4施設 ・鳥大がんセミナー、各種Web研修等→ 9施設 ◎がん登録データの質の担保を図るため、実務者認定資格を取得または保持に努めた。 ②院内がん登録認定・更新試験を受験した。(主催：国立がん研究センター) ・中級認定者試験→ 1施設 ・中級者認定更新試験→ 1施設 ・初級者認定更新試験→ 2施設 ◎その他の取り組み ・院内がん登録SNS WEBサイトを積極的に活用した ・2021年診断症例Q1研究への参加した ・がん登録当該年症例データを提出した 2) がん登録データを活用し認知度を高める ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用して、医療関係者・一般の方に役立つ、正確ながん情報を提供した。(企画：鳥大) ・各施設から提出していただいたデータを集計・分析し、情報を掲載・更新したデータ提出施設 10施設 ◎各施設で院内がん登録のデータ活用を実施した。 ・各施設のホームページ等ががん登録集計データを掲載・更新した→ 5施設 ・自施設の他部門へ情報提供を行った→ 5施設 ・院内がん登録委員会等を開催し、分析結果等の情報を提供した→ 5施設 ・がん登録データを活用し、医療機関向け機関紙等に公開した→ 1施設 ・Q1研究2020年症例未実施理由を提出した→ 2施設 ◎鳥取県院内がん登録情報センターHPを活用し、生存率を公表した。 ・胃がん、大腸がん、肺がんの部位別、ステージ別の集計を行いホームページに掲載した。(企画：鳥大)	1) がん登録の精度向上を図る ・研修会、Webセミナーに参加することで知識を深めることができ、より精度の高いがん登録の実施に繋がった。 また、研修会、Webセミナーで得られた情報を実務者間で共有することができた。 ・SNSを活用することで新規・変更ルールを確認し、不明な点の解決を行いより精度の高い登録を実施することができた。 ・ブール問題等を活用し自己学習を行うことでスキルアップに繋がった。 ・初級・中級者認定者試験、初級・中級者認定更新試験を受験し資格を取得・更新した。 2) がん登録の認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPの更新を工夫することで、アクセス数の増加に繋げることができた。(企画：鳥大) ・自施設のホームページを更新することで、新しい情報を提供することができた。 ・ホームページの内容を見直し、掲載項目を増やすことでより充実した情報を提供することができた。 ・医師や他部門への資料作成・提供することで連携を強めることができた。 ・院内がん登録委員会等で、分析結果等の情報提供・共有を行うことができた。 ・Q1研究2020年未実施理由回答の内容を院内がん登録委員会等だけでなく他の委員会に情報提供することで多職種への意識付けに繋がりが、活用の幅を広げることができた。 ・自施設ホームページに掲載している情報誌の「がん診療に関する指標」において、がん登録データを活用し情報提供することにより活用の幅を広げることができた。 ・院内がん登録委員会等で二次利用関連について協議し、院内への周知を行った。	1) がん登録の精度向上を図る ・今後も研修会等に参加、SNSの活用を行い、がん登録の精度向上と質の担保を図る。 ・登録精度向上のため、研修会を開催するとともに研修会情報を共有できるように情報提供を行う。 ・研修会、Webセミナーで得られた情報を実務者間で共有し、共通理解を図る。 ・今後も、ブール問題等を活用し自己学習を行いスキルアップを図る。 ・データの質を担保を図るため認定資格を保持できるよう認定試験情報等の情報提供を行う。 ・実務者認定資格を取得・更新することにより、がん登録データの質を担保する。 2) がん登録の認知度を高める ・鳥取県院内がん登録情報センターHPのデータ等を更新し、一般の方にも役立つような情報を提供するとともに、アクセス数の多いコンテンツを定期的に更新する。 ・自施設のホームページを更新し、新しい情報を提供する。 ・他部門との連携を継続することにより更に認知度を高める。 ・院内がん登録委員会等を開催し、分析結果等の情報を提供する。